

# 令和6年度 部局予算編成方針

令和6年2月

豊 島 区

## 目 次

	ページ
1. 政策経営部 . . . . .	1
2. 総務部 . . . . .	2
3. 区民部 . . . . .	3
4. 文化商工部 . . . . .	4
5. 環境清掃部 . . . . .	5
6. 保健福祉部（福祉費） . . . . .	6
7. 保健福祉部（衛生費） . . . . .	7
8. 子ども家庭部 . . . . .	8
9. 都市整備部 . . . . .	9
10. 会計管理室 . . . . .	10
11. 教育部 . . . . .	11
12. 選挙管理委員会事務局 . . . . .	12
13. 監査委員事務局 . . . . .	13
14. 区議会事務局 . . . . .	14

# 令和6年度 部局予算編成方針

## 政策経営部

### 1. 現状と課題

#### 【現状】

- (1) コロナ禍による社会経済状況、区民意識・ニーズ等の変化
- (2) 人口減少の見直しをはじめ、人件費や物価の高騰、老朽化施設の増加など、財政を取り巻く環境の変化
- (3) 伸び悩む区政への関心やインバウンド需要
- (4) これまで届かなかった声の聴取や地域と連携しながら課題を解決する公民共創の高まり
- (5) 来庁不要区役所への移行の推進、2025年度末までの情報システム標準化への対応
- (6) 公共施設の老朽化

#### 【課題】

- (1) コロナ禍によって変化した社会経済状況や区民ニーズ等を反映した区政方針の策定
- (2) 持続発展都市であり続けるための財政運営、政策や事務事業の絶え間ない見直し
- (3) シティプロモーションや情報の発信力の強化、区民相談機能の充実
- (4) 公民連携のさらなる展開と多様な主体による自律的活動の促進
- (5) 行政サービスのオンライン化・非接触化などデジタル技術の活用推進、情報システム標準化への対応
- (6) 老朽化施設の改築・改修、区有施設の効果的な配置

### 2. 予算編成方針

#### 【目標】

限られた財源のなか、社会情勢の変化や区民の声を反映しつつ、優先度や貢献度の高い事業への重点化により、区政全体の円滑で効果的な施策の展開を支えるとともに、主体となって取り組むミッションを着実に実行する。

#### 【基本方針】

- (1) 社会情勢や区民ニーズを反映した区政運営を可能とする基本方針の策定
- (2) 緊急事態にも即応できる持続可能な財政運営の実現
- (3) HPリニューアル、重点施策の機動的かつ戦略的な発信やプロモーションによるまちの価値向上
- (4) 企業等の多様な主体との連携・支援による文化と経済の好循環の形成
- (5) 個人情報保護制度的確な運用に基づく、行政サービスのデジタル化による新たな社会への対応の加速
- (6) 老朽化施設等の計画的な改築・改修、社会動向と区民ニーズを的確に捉えた区有資産の効率的な再編・活用

### 3. 重点施策

#### 1. 豊島区基本構想・基本計画策定 20,353千円

改定を1年度前倒し、令和7年度を始期とする新たな「基本構想」及び「基本計画」を策定する。

#### 2. シティプロモーション事業経費 20,000千円

職員育成による発信力強化や重点施策の戦略的なプロモーションにより、区内外の人を惹きつける魅力あふれるまちを実現する。

#### 3. 全庁的なDXの推進 398,455千円

豊島区DX推進計画に掲げる「情報システム標準化」、「来庁不要の区役所」の実現に向け、関係課と連携しながらDXを推進する。

##### 1) 基幹系情報システム標準化 393,738千円

国が定める令和7年度末の期限までに、着実に標準システムへの移行を実現する〔3年目〕。

##### 2) 来庁不要区役所の推進 1,867千円

電子申請の拡充など行政サービスのオンライン化を着実に進める。

##### 3) DX人材育成(寺子屋ICTプロジェクト) 2,850千円

業務改善に必要な知識やデジタルスキルの習得に加え、要点を的確に整理し提案するノウハウを高めるなど、DX推進の原動力となる職員を育成する。

# 令和6年度 部局予算編成方針

## 総 務 部

### 1. 現状と課題

#### 【現状】

- (1) SDGsの目標「平和と公正をすべての人に」達成のため、非核平和等に対する理解促進が求められている。
- (2) 多様化・複雑化した行政ニーズや課題への対応、コンプライアンス強化等のため、職員の更なる能力向上や意識改革等に努めていく必要がある。
- (3) 男女共同参画の推進、多様な性自認・性的指向の人々に対する支援及び理解促進とともに、若年女性をはじめとする困難な状況にある女性への支援が求められている。
- (4) 未知の感染症の発生や各地で大規模災害が頻発している。
- (5) 各種犯罪の抑止による、安全・安心なまちづくりの推進が求められている。

#### 【課題】

- (1) 戦争を知らない世代が増加する中で、当時の記憶を風化させないための取組の推進を図ること。
- (2) 柔軟かつ効率的な組織運営や人材育成、職員の健康管理を図ること。
- (3) 多様な性自認・性的指向の人々に関連する制度の拡充や困難女性への計画的支援及びその体制整備を図ること。
- (4) 発生頻度が高まりつつある風水害を含め、未知の感染症などに適切な防災対策の推進を図ること。
- (5) 安全安心なまちづくりの更なる強化を図ること。

### 2. 予算編成方針

#### 【目標】

- (1) 豊かなコミュニティの礎となる平和等に関する正しい認識の普及。
- (2) 全ての職員が能力を発揮し、安心して働き続けられる職場環境の整備。
- (3) ジェンダー平等の更なる推進により、すべての人が人権を尊重され、その人らしく生きていける社会を目指す。
- (4) 区全体の災害対応力を強化するため、区及び地域における防災対策の着実な実施及び各救援センターの整備の充実。
- (5) 各種犯罪の抑止と良好な治安環境の醸成。

#### 【基本方針】

- (1) 次世代を担う子どもたち等に対して非核平和等に関する普及啓発を推進する。
- (2) 人材育成と働き方改革の更なる推進に取り組むことで、職員が健康で生き生きと働き続けられる職場環境を実現する。
- (3) すずらんスマイルプロジェクトの推進及び困難女性支援基本計画の策定により、若年女性をはじめとする困難女性への支援体制を強化する。
- (4) 地域防災計画及び都市再生安全確保計画に基づき、計画的な防災拠点や情報通信手段の整備、備蓄物資の確保に取り組むとともに各救援センターの整備の充実を図る。
- (5) 継続した各種対策の実施と、治安情勢に応じた効果的な取組み。

### 3. 重点施策

<b>1. 憲法・非核平和・人権思想周知関係事業経費</b>	<b>3, 143千円</b>	
憲法・非核平和・人権思想周知関係事業経費		3,143千円
<b>2. 人事管理・人材育成関係経費</b>	<b>170, 884千円</b>	
職員健康管理経費		93,938千円
人事関連事務業務委託経費		51,700千円
職員研修経費		25,246千円
<b>3. 男女共同参画・すずらんスマイルプロジェクト推進事業関係経費</b>	<b>6, 641千円</b>	
困難女性支援計画策定事業経費		2,641千円
すずらんスマイルプロジェクト推進事業関係経費		4,000千円
<b>4. 総合防災システム関係経費</b>	<b>132, 197千円</b>	
総合防災システム関係経費		132,197千円
<b>5. 危機管理関係経費</b>	<b>8, 871千円</b>	
危機管理関係経費		8,871千円
<b>6. 地域の安全・安心まちづくり事業経費</b>	<b>172, 462千円</b>	
池袋駅西口駅前広場・池袋駅・大塚駅周辺地区警備業務経費		88,093千円
青色パトロール車の運用経費		43,361千円
地域における見守り活動支援事業経費		41,008千円

# 令和6年度 部局予算編成方針

## 区民部

### 1. 現状と課題

#### 【現状】

- 町会加入率の減少傾向や役員の高齢化・担い手不足により、町会の活動力が低下している。
- 地域区民ひろばは、地域活動に対するニーズの多様化や地域コミュニティの活動拠点としての期待が高まる一方で、老朽化が進行する施設があり、施設間での格差が生じている。
- マイナンバーカードは、令和6年度中に健康保険証と一体化する方針が打ち出されたが、現時点の交付率は約77%である。
- 令和5年度区民税調定額は前年度の同時期を上回っており、収納率も引き続き高い水準を維持している。
- 国民健康保険料は、収納率が依然として23区下位に低迷している。また外国人加入者がコロナ前の水準に戻っている。
- 後期高齢者医療保険は、団塊の世代が後期高齢者になる令和7年まで被保険者数が増大していくため、納付制度の丁寧な説明が求められている。
- 住民記録システムなど基幹システムの標準化対応の取組みについて、システムごとの進捗にばらつきがある。
- 東部区民事務所が併設する都営アパートについて、東京都から老朽化に伴う改築等の検討を進めているとの情報提供があった。

#### 【課題】

- 町会活動のデジタル化推進は、若者層や子育て世代が町会に参加しやすくなるための有効な手段と考えられるため、町会活動の活性化を図るためにも、支援が必要である。
- 地域区民ひろばは、施設の老朽化に伴う施設間格差を解消するとともに、コロナ禍を経て変化した地域社会の課題に対応するため、新たなあり方の検討が必要である。
- 引き続き、マイナンバーカードの円滑な交付や取得促進策、利便性向上に向けた取組みについて検討する必要がある。
- 外国人納税義務者数がコロナ禍による一時的な減少から回復しており、外国人の収納確保が課題となっている。
- 国民健康保険料は、引き続き外国人の収納確保をはじめとした収納対策の強化が必要である。
- 後期高齢者医療保険については、被保険者増による初期未納者が増えており、収納率の向上が課題である。また、令和6・7年度保険料改定の周知を丁寧に行う必要がある。
- 基幹システムの全システムを、予定通り令和7年度までに切り替える必要がある。
- 東部区民事務所の改築等について、東京都と協議を行い、それに伴う仮移転先を検討する。

### 2. 予算編成方針

#### 【目標】

- 町会長がオンライン会議の活用をするなど町会活動のデジタル化が促進するよう、スマートフォンやパソコン等を所有していない、自分で操作が困難な町会長向けにタブレット等の貸出や使い方のサポートを行うことで、デジタル化推進のメリットを認知いただく。
- 地域活動の拠点として、多様なニーズに対応した地域区民ひろばの機能の充実・強化を図る。
- 窓口来庁者の状況及び「来庁不要」手続の拡大、区民アンケート等の結果を総合的に検証して、効率的な窓口開庁を図る。
- 税・保険料については、滞納繰越分の早期圧縮、現年分の確実な収納を進め、収納率の向上を図る。
- 令和3年9月1日に施行された、地方公共団体情報システムの標準化に関する法律に基づき、令和7年度末までに基幹システムを標準仕様に準拠したシステムへ改修する。

#### 【基本方針】

- 町会長への区民ひろば保有のタブレット等の貸出やひろばカフェでのスマートフォン・タブレット教室の利用案内、都助成の活用サポート等を積極的に行うことで、町会活動のデジタル化に向けた支援の強化を図る。また、新たな地域課題に対応した地域区民ひろばのあり方を検討する。
- 地域区民ひろばの改築・改修を計画的に進める。
- 窓口来庁者の状況及び「来庁不要」手続の拡大、区民アンケート等の結果を総合的に検証する。
- 国民健康保険課、高齢者医療年金課においても預貯金等調査のデジタル化を導入し調査件数を増加させ、収納率の向上を図る。
- 令和7年度末までに基幹システムを標準仕様に準拠したシステムへ移行する。

### 3. 重点施策

#### 1. 地域活動の活性化支援 13,091千円

町会長に区民ひろば保有のタブレット等の機材やひろばカフェなどを積極的に活用いただくことで、区政連絡会のオンライン開催の全12地区への普及に取り組むとともに、町会活動のデジタル化に向けた自主的な取組みの支援を強化する。

地域区民ひろばあり方検討委員会を設置し、コロナ禍を経て変化した地域社会が抱える課題整理やニーズ調査を実施する。

#### 2. 地域区民ひろば施設改修・大規模改修 1,608,951千円

区民ひろば清和・朝日の改築、区民ひろば南大塚・高南第二・長崎の大規模改修など、計画的に施設の機能更新・機能拡充を進める。

#### 3. 来庁不要手続きの拡大及び土日開庁の見直し 92,114千円

平成27年5月7日より総合窓口課を中心に「345日開庁」を実施してきたが、これまでの窓口来庁者の状況、「来庁不要」手続の拡大、及び区民アンケート等の状況を総合的に検証した結果、令和6年度から土日開庁の見直しを行う。

#### 4. 収納対策のデジタル化 2,888千円

財産調査のデジタル化により、調査回答にかかる時間の大幅な短縮、及び調査件数の大幅な増大を実現することで、迅速かつ効率的な滞納整理が可能となり、収納率改善を目指す。

#### 5. 基幹システムの標準化 537,839千円

令和3年9月1日に施行された、地方公共団体情報システムの標準化に関する法律に基づき、令和7年度末までに基幹システムを標準仕様に準拠したシステムへ移行する。

# 令和6年度 部局予算編成方針

## 文化商工部

### 1. 現状と課題

#### 【現状】

○毎年11月1日を「としま文化の日」、1日～7日をとしま文化推進期間と定めて、文化事業の実施と普及啓発を区民や民間企業との連携により行っている。昨年度は、日常にアート・カルチャーが溢れるまちづくりを推進するため、ストリートカルチャー、アーバンスポーツ、マンガ・アニメ・コスプレ、音楽など子どもから大人まで誰もが楽しめるイベントを展開した。

○ウクライナ情勢をはじめとする原油価格・物価高騰等の影響により、中小企業を取り巻く環境は依然として厳しい状況である。中小企業への融資・相談事業等の充実、商店街振興施策の展開等、地域経済の基盤強化が求められている。

#### 【課題】

1. 文化芸術に関わるあらゆる人々がいきいきと活動し、そこで生まれた地域の文化を次世代に継承する必要がある。
2. トキワ荘マンガミュージアムの誘客促進、インバウンド対策へ向けた事業展開により、マンガ・アニメ文化継承の拠点としてさらなる発展が必要である。
3. 地域経済の活性化のため、商店街、中小企業が抱える多様な課題に対応する必要がある。
4. 誰もが生涯を通してスポーツに親しむことができる環境の整備・充実を図る必要がある。
5. 図書館利用促進のため、時流とニーズに合わせて資料の充実を図る必要がある。

### 2. 予算編成方針

#### 【目標】

1. 区民をはじめ、文化芸術団体、地域団体が様々な文化芸術活動を行い、にぎわいあふれるまちを創出する。
2. トキワ荘マンガミュージアムの円滑な運営に加え、更なる誘客促進、インバウンドに向けた事業展開を推進する。
3. 観光情報の発信力の強化により多くの来街者を呼び入れる。
4. 起業・創業数が増加するとともに、区内中小企業や商店の経営が安定化し、地域経済が活性化する。
5. スポーツ、健康増進への取組み意欲が拡大する。
6. 図書館が区民の日常生活を豊かにし、知の基盤のネットワークハブとして機能する。

#### 【基本方針】

1. としま文化の日を起点とした文化プログラムの推進と、地域の文化活動を支援する。
2. トキワ荘マンガミュージアムにおいてプロダクションや地域等と協力し、誘客促進、インバウンド対策に向けた事業展開を推進する。加えて、マンガの聖地トキワ荘から現代のアニメにつながる豊島区全体の回遊を促進する。
3. コロナ禍や物価高騰等で打撃を受けた商店街振興、中小企業者の経営安定化、起業・創業に関する相談体制強化等の支援を推進する。
4. 魅力発信の強化と楽しめる観光プログラムの提供で、インバウンドの拡大を図る。
5. 東京2020大会のレガシーとしてスポーツ振興を目指す。
6. 多くの人にとって身近で、多くの人に利用される「にぎやかな公共図書館」を目指す。

### 3. 重点施策

#### 1. としま文化の日推進事業経費

5,000千円

としま文化の日・としま文化推進期間において、区民を対象とした文化イベントを実施し、“アート・カルチャーが日常にあふれるまち”を推進する。

#### 2. トキワ荘マンガミュージアム管理運営経費

190,428千円

ミュージアムの運営、魅力ある企画展・イベント等さらなる誘客促進、インバウンド向けの事業展開を行うとともに、地域と一体となったエリア全体のまちづくりを推進する。

#### 3. 区内経済振興事業経費（中小企業支援経費他5事業）

179,959千円

デジタル化推進・人材育成等の企業の成長ステージに応じて必要となる経費の補助や、プレミアム付地域商品券事業・商人まつりなどの商店街連合会を中心に各商店街が実施する事業を支援し、地域経済活性化を促進する。

#### 4. ナイトライフ観光推進事業経費

59,648千円

「Tokyo Music Evening Yube」を、「街なかクラシックプロジェクト」として区内全域に広げる。

#### 5. スポーツ活動の基盤となる環境整備経費

651,610千円

千早スポーツフィールド（野外スポーツ施設）の整備、総合体育場管理棟の改築プランを検討する。

#### 6. 図書館施設大規模改修経費及び千早図書館改築経費

91,540千円

豊島区立図書館基本計画に基づき、「にぎやかな公共図書館」の実現に向けた上池袋図書館の改修、千早図書館の改築を行う。また、池袋図書館の空調及び受変電設備の改修を行う。

# 令和6年度 部局予算編成方針

## 環境清掃部

### 1. 現状と課題

#### 【現状】

- 令和3年2月にゼロカーボンシティを宣言後、「2050としまゼロカーボン戦略」策定、環境基本条例改正により、区民・事業者・区が連携協働して、2030年カーボンハーフに向けて脱炭素への取組を進めており、温室効果ガス排出量は2013年度比で20.2%削減(2020年度実績)している。
- まちきれいプロジェクトの展開等を進め、環境美化の啓発やシルバースターズによる清掃などの取組みを充実させ、安全・安心快適環境への取組を進めている。
- ごみの排出量は、令和4年度の区民一人1日当たり510gで、令和3年度と比較し、約14g(2.7%)減少している。
- 「プラスチック資源回収事業」を令和5年10月から区内全域で開始し、今後も資源循環社会実現に向けて、適正排出の一層の促進などに取り組むことが求められている。

#### 【課題】

- 2030年カーボンハーフに向けて、家庭や事業者に対する効果的な事業展開や、庁内率先垂範の取組みを一層進める必要がある。
- CO2排出抑制や再エネ推進の他、緑化や気候変動適応等にも取り組む必要がある。
- 望まない受動喫煙防止とまちの美化を更に推進するため、一層の取組みの工夫と強化が必要である。また、改正大気汚染防止法に対応したアスベスト対策を強化する必要がある。
- 区民一人ひとりがプラスチック資源回収に一層取り組むことにより、環境配慮行動を更に進めていく必要がある。

### 2. 予算編成方針

#### 【目標】

- 家庭、中小規模事業者の省エネ・CO2削減の推進を図り、一層のCO2削減を図る。
- 地球温暖化対策として、区内緑化や他自治体との連携によるカーボンオフセット事業を推進する。
- パトロール体制や地域との連携強化を継続するとともに、民間事業者等による公衆喫煙所設置を進めることによる路上喫煙・ポイ捨て、受動喫煙防止対策を推進する。また、アスベスト飛散防止にも取り組む。
- 「3Rの推進」及び「安定的で適正なごみ処理の推進」に向け、ごみの減量及び資源回収の推進、適正分別・適正排出の徹底を図る。

#### 【基本方針】

- デコ活等による環境気運醸成を図るとともに、今後に向けた環境基本計画の見直しを行う。また、家庭部門、中小規模事業者機器導入等費用の助成の他、環境配慮行動を促す施策を展開し、CO2排出削減を進める。
- 区民・事業者・他自治体と連携して、CO2吸収や気候変動適応に有効な緑化事業を進める。
- 路上喫煙・ポイ捨て防止パトロールや周知啓発活動などを強化するとともに、民間事業者等公衆喫煙所の設置の推進やシルバースターズの清掃事業による街の美化向上を図る。また、区民の安全・安心を確保するためアスベスト分析調査助成を実施する。
- 一般廃棄物の適正な処理を進めるとともにプラスチック資源回収を更に推進していく。

### 3. 重点施策

#### 1. CO2削減促進事業経費 44,015千円

CO2削減に向け、家庭、中小規模事業者向けに省エネ対策、太陽エネルギー機器導入助成等の支援事業を実施するとともに、ペットボトル削減の取組みを進める。環境基本計画中間見直しを行う。

【対象事業】エコ住宅・事業者普及促進事業(32,720千円)、環境教育・啓発事業:緑化以外(353千円)、庁内地球温暖化対策事業(1,212千円)、給水スポット事業(7,629千円)、環境基本計画改定事業(2,101千円)

#### 2. 緑化促進事業経費 29,032千円

区内外に広範な緑化活動を展開すると同時に、生物多様性に対する理解を促進する。

【対象事業】自治体間連携によるカーボンオフセット事業(10,830千円)、「グリーンとしま」再生プロジェクト事業(10,062千円)、環境教育・啓発事業:緑化(5,041千円)、生物多様性支援事業(3,099千円)

#### 3. 路上喫煙・ポイ捨て防止事業経費 91,137千円

区民や事業者と連携した各種周知啓発活動の実施や、としまシルバースターズ清掃等活動、区内全域の路上喫煙・ポイ捨て防止パトロール、民間事業者等の公衆喫煙所設置助成制度の活用により、街の美化活動を推進する。

【対象事業】路上喫煙・ポイ捨て防止事業(17,949千円)、路上喫煙・ポイ捨て防止パトロール事業(44,696千円)、喫煙所管理(10,092千円)、民間事業者等による公衆喫煙所設置助成等事業(18,400千円)

#### 4. アスベスト分析調査費用助成事業経費 2,500千円

建築物の所有者等に対し、建材のアスベスト分析調査の費用助成を行う。

【対象事業】アスベスト分析調査費用助成事業(2,500千円)

#### 5. プラスチック資源回収事業経費 574,490千円

令和5年10月から、区内全域で実施しているプラスチックの資源回収を通年で実施する。分別の徹底や資源回収の円滑化、回収量の増などに向けた取組を進める。

【対象事業】プラスチック資源回収事業経費(574,490千円)

# 令和6年度 部局予算編成方針

## 保健福祉部(福祉費)

### 1. 現状と課題

#### 【現状】

「豊島区地域保健福祉計画」に基づき、保健福祉施策の推進に着実に取り組んでいる。これまで培ってきた地域包括ケアシステムの考え方を、地域保健福祉全体に広げ、区全体で包括的な支援体制を推進していく必要がある。

#### 【課題】

- ①重層的支援体制の構築、推進
- ②望まない社会的孤立・孤独、生きづらさ・ひきこもりへの対策
- ③権利擁護の推進(虐待防止、成年後見制度利用促進等)
- ④セーフティネット対策(生活困窮者の自立促進、生活保護漏給の防止等)
- ⑤高齢者、障害者自立促進のための住まい(グループホーム等)の整備
- ⑥災害時要配慮者対策

### 2. 予算編成方針

#### 【目標】

「地域保健福祉計画」に掲げる基本理念、基本方針に基づき、地域共生社会の実現に向け、豊島区版重層的支援体制の構築を目指すとともに、豊島区の特性を踏まえた連携と協働による地域保健福祉を推進する。

#### 【基本方針】

- ①医療的ケア児・重度心身障害児への支援強化
- ②高齢者等への入浴機会の確保
- ③熱中症対策
- ④災害時要配慮者対策推進
- ⑤高齢者・障害者・生活困窮者の自立支援体制の強化
- ⑥介護保険制度等持続的な事業運営の確保と人材育成

### 3. 重点施策

#### 1. 医療的ケア児及び重症心身障害児の放課後等支援事業経費 5,400千円

医療的ケア児及び重症心身障害児の放課後等支援の充実のため、放課後デイサービス事業所の看護職員加配に伴う人件費の補助を行う。

#### 2. おたっしゅカードの拡充事業経費 11,391千円

おたっしゅカードの利用回数を年30回から40回に拡充するとともに、銭湯空白地域の解消のため区外1か所の公衆浴場を利用できるようにする。

#### 3. 高齢者世帯・生活保護世帯熱中症集中対策事業経費 27,700千円

熱中症リスクが高い高齢者世帯及び生活保護世帯を対象に、エアコン購入費用等の一部を助成する。

#### 4. 災害時要配慮者対策推進事業経費 6,745千円

災害時要援護者対策を推進するため、名簿の管理・更新、個別避難計画作成、大学との共同研究を行う。

# 令和6年度 部局予算編成方針

## 保健福祉部（衛生費）

### 1. 現状と課題

#### 【現状】

○核家族化が進み、地域のつながりも希薄となる中で、孤立感や不安感を抱く妊婦・子育て家庭も少なくない。妊婦・子育て家庭が安心して出産・子育てができるように相談支援の充実等の環境整備を進めている。  
○区民の健康レベル向上のため、がん対策・生活習慣病対策等を推進している。

#### 【課題】

○妊娠時から出産・子育て期までの一貫した伴走型相談支援をさらに充実させる必要がある。  
○減少傾向にある女性のがん（乳、子宮頸）検診受診者及び特定健診受診者を増加させる効果的な周知が必要である。

### 2. 予算編成方針

#### 【目標】

区民誰もが健康的な生活を維持・増進できるよう、母子保健や予防接種、がん検診・生活習慣病予防健診等保健サービスの充実を図る。  
また、感染症や食中毒、大規模災害への対応等健康危機管理体制を強化するとともに、在宅医療・介護連携等地域医療体制を整備し、安心安全な生活環境を提供する。

#### 【基本方針】

- 母子保健に関する各事業の充実を図り、伴走型支援を推進する。
- がん予防知識の普及、がん検診の受診率向上、患者と家族支援の充実、ライフステージ別のがん対策（小児・AYA世代、働く世代、高齢者）を推進する。
- 感染症対策を含め、健康危機管理体制を維持・強化するとともに、大規模災害発生時における動物救護の体制を整備する。
- 医療と介護の連携体制の整備に向け、在宅医療連携推進会議等を通じ多職種連携を強化する。また、福祉部門と連携し、地域包括ケアシステムの構築を図る。
- 保健所の本移転に向けた準備を計画的に進める。
- 食の安全対策、環境衛生の向上、適切な医療施設の運営、安全確保等を推進する。

### 3. 重点施策

#### 1. ゆりかご・としま事業 262,617千円

妊娠届出時等に助産師等による面接、出産後は全ての家庭に対し赤ちゃん訪問を行い、応援グッズや出産・子育て応援ギフトを交付する。これにより妊娠から出産・子育て期に切れ目なく相談・支援が受けられる伴走型相談支援を充実させる。

#### 2. がん検診事業経費 670,769千円 がん対策推進事業経費 3,816千円

がんの早期発見・治療につなげるため、がん検診（胃がん、肺がん、大腸がん、子宮頸がん、乳がん、前立腺がん）や胃がんリスク評価およびB型・C型肝炎ウイルス検査の受診勧奨を実施する。がんの治療に伴う外見の変化をカバーするため、ウィッグ・胸部補正具等を購入された方への助成額を増額する。がんに関する知識の普及啓発のために、がん対策推進特別講演会や、民間団体と連携した小児・AYA世代のがん啓発イベントを実施する。

#### 3. 予防接種事業経費 1,178,729千円

定期予防接種の接種率向上と任意予防接種の推進を図る。令和5年6月より開始した帯状疱疹ワクチンの任意接種費用助成を引き続き実施するとともに、新たに男性へのHPVワクチン任意接種費用助成を開始し、女性の子宮頸がん予防（HPV）ワクチン接種と合わせて、HPV感染の拡大防止に取り組む。

#### 4. 在宅医療推進関係経費 11,516千円 在宅歯科医療相談窓口事業経費 6,517千円 在宅医療連携推進会議・在宅医療相談窓口事業経費 21,774千円

四師会と連携して在宅医療連携の体制整備を進める。在宅医療連携推進会議の開催、在宅医療相談窓口・歯科相談窓口の運営、在宅療養後方支援病床確保事業、多職種ネットワーク構築事業、区民公開講座を実施する。

#### 5. ペット災害対策事業経費 1,405千円

全救援センターにペット同行避難受入れに必要なペットシートやペットケージ等の資機材等を配備する。また、ペットの同行避難訓練を実施し、ペットの災害対策について広く区民に周知する。

# 令和6年度 部局予算編成方針

## 子ども家庭 部

### 1. 現状と課題

#### 【現状】

- 出産や子育て、子どもの発達などの課題が少子化社会の問題となっている。
- 令和5年12月に「こども大綱」が閣議決定され、「こどもまんなか社会」の実現に向けて各自治体子ども施策を推進していくことが求められている。また、「豊島区子どもの権利に関する条例」に基づく、子どもの権利救済・回復の推進、子どもの遊び場などを含む子どもの居場所の拡充が求められている。
- 児童相談所に関わる児童の権利擁護や自立支援の強化等、児童福祉法の児童相談所設置市としての努力義務となっている。
- 保育園の役割がこれまでの「保育に欠ける子ども」の発達の支援から、在宅子育て家庭の子どもを含めた「全ての子どもと子育て家庭」を対象とする支援へと大きく変化している。

#### 【課題】

- 「こども大綱」を踏まえ、子どもと若者の意見を反映させた「豊島区子ども若者総合計画」の策定
- 子どもの権利が保障され地域全体で「こどもまんなか社会」を築く啓発活動と気運を高める取組みの継続的実施
- 第三者機関である子どもの権利相談室の適正な運用と周知
- 児童相談所が受理する約半数が過去に相談履歴がある家庭であり、再発防止に向けた取組みの拡充が重要
- 児童相談所に関わる子どもの権利保障のための事業整備及び児童養護施設退所者等に対する支援の整備
- 母子保健と児童福祉が一体的に運営する「こども家庭センター」機能新設により、全出産家庭への見守りと切れ目のない継続支援を実施
- 医療的ケア児の受入れやこども誰でも通園制度等の実施など保育園の機能強化による子育て支援策の拡充

### 2. 予算編成方針

#### 【目標】

- 「こども基本法」、「児童福祉法」、「豊島区子どもの権利に関する条例」等の理念に基づく、子どもの権利が保障され、最善の利益を守る子どもの意見を反映した施策の確立
- 子育て世帯の孤立化防止や養育上の困難な課題への支援策を充実させ、地域の中で安心して出産し、子育てできる環境づくりを行う
- 児童相談所設置市として虐待予防と再発防止、権利保障事業、児童養護施設退所者等への支援を実施し、また事務の効率化を図る
- 保育園・幼稚園の環境改善と全ての子どもと子育て家庭へ支援を行う新たな保育園の役割を推進する

#### 【基本方針】

- 事業構築にあたっては、子ども・若者、子育て家庭や地域で活動する方々の声を聴き、また計画策定については区民アンケートや、子どもや若者ヒアリングなどにより当事者の意見を反映させる。
- 事業実施は部局横断で行い、関係各課が課ごとの役割を明確にしながら連携して実施する。また事業によっては地域の理解と協力を得て進める。
- 相談や意見表明などの実施については、訪問やアウトリーチの手法を積極的に取り入れる。
- 情報発信を強化し、関係課の連携など、見る側のわかりやすさを追及する。

### 3. 重点施策

- 1. 子どもの権利に関する条例に基づく推進事業経費 37,533千円**  
 としま子どもの権利相談室運営等経費 5,007千円(うち拡充分2,417千円)  
 プレーパークの拡充 10,434千円(うち拡充分 318千円) 道路予定地の有効活用(区民提案) 2,000千円  
 子ども若者総合計画の改定関係経費(拡充分) 2,695千円 児童養護施設退所者等支援事業 17,397千円
- 2. 子育て支援関係事業経費 429,100千円**  
 バースデーサポート事業経費 141,350千円 こどもつながる定期預かり事業 38,523千円(新規)  
 子育てひろば補助事業 8,639千円 マイほいくえん事業 917千円(うち拡充分300千円)  
 私立幼稚園等園児保護者補助事業 69,816千円(拡充分14,616千円)  
 認可外保育施設利用支援事業 107,320千円(拡充分72,420千円)  
 保育所等利用多子世帯負担軽減事業 62,535千円(拡充分16,848千円)
- 3. 困難を有する子ども子育て家庭への支援事業経費 267,118千円**  
 子育て世帯見守り訪問事業経費 189,660千円  
 親子再統合支援事業経費 4,500千円 一時保護児童通学支援経費 2,112千円  
 ショートステイ事業経費 32,762千円(拡充分7,643千円) 発達支援事業経費 38,084千円
- 4. 保育・教育環境整備事業経費 72,171千円**  
 医療的ケア児受入体制強化事業(公立保育園) 2,177千円(うち拡充分784千円)  
 医療的ケア児保育支援事業(私立保育園) 5,280千円(新規)  
 私立幼稚園教育環境整備費補助事業 64,714千円

# 令和6年度 部局予算編成方針

## 都市整備部

### 1. 現状と課題

#### 【現状】

- (1) 特定都市再生緊急整備地域、国家戦略特区の指定を受け、池袋駅周辺地域の都市再生が加速している。
- (2) 木密地域における共同建て替え等の取組みが本格化している。
- (3) SDGs未来都市として、SDGsの理念等を踏まえた持続可能なまちづくりを推進するために、これまで行政が単独で取り組んできた分野に、民間の知識やアイデア、資金や技術の提供など、ノウハウを生かした取組みの検討が始められている。

#### 【課題】

- (1) 人が主役の国際アート・カルチャー都市として持続可能なウォーカブルなまちを実現するために、区の先行投資を受け継ぐ民間主導の取組みを進める必要がある。
- (2) 沿道不燃化を推進するとともに、多様な主体と連携を図りながら沿道まちづくりを進める必要がある。
- (3) 多様な連携による道路・公園等の維持管理を進め、施設のインフラと地域の活力を高めていく必要がある。

### 2. 予算編成方針

#### 【目標】

「人」が主役の「国際アート・カルチャー都市」、「ウォーカブルなまちづくり」の実現に向け、池袋副都心をはじめ区内各地域の個性と魅力を世界に向けて発信するため、公民連携を強化するとともに、文化と安全・安心を両輪とするまちづくりを進める。

#### 【基本方針】

- (1) 特定都市再生緊急整備地域を活かして、池袋駅周辺エリアでの民間主導による国際競争力の強化を進める。
- (2) 特定整備路線沿道の不燃化を推進するとともに、地域と協働したまちづくり活動と計画の立案を進める。
- (3) 長期的な視点に立って、魅力あふれる都市空間を創出し、安全・安心・安住のまちづくりを進める。

### 3. 重点施策

<b>1. 国際アート・カルチャー都市のメインステージを彩る池袋副都心・周辺の再生</b>	<b>9,204,468千円</b>
(1) 持続可能なまちを実現するための計画・整備	699,225千円
①豊島区都市づくりビジョン改定事業 9,675千円、②大塚駅周辺整備事業 123,260千円	
③池袋副都心再生推進事業【拡充】 49,290千円、④立教通り整備事業 501,000千円	
⑤池袋駅東口A・C・D地区地区計画変更事業 16,000千円	
(2) 暮らしを支える交通・基盤の整備	273,489千円
①池袋副都心移動システム推進事業 159,443千円	
②池袋副都心交通戦略推進事業 10,592千円	
③東池袋駅周辺まちづくり推進事業 8,441千円、④補助第176号線整備事業 95,013千円	
(3) 良好な開発の誘導	8,231,754千円
①池袋駅東口街区再編まちづくり推進事業 5,324千円	
②南池袋二丁目C地区市街地再開発事業 4,085,870千円	
③池袋駅地区バリアフリー推進事業 3,050千円	
④東池袋一丁目地区市街地再開発事業 4,137,510千円	
<b>2. 子どもと女性にやさしいまちづくり</b>	<b>205,424千円</b>
①中小規模公園活用事業 7,812千円、②公園・児童遊園改修事業 121,000千円	
③イケ・サンパーク親水施設改修【新規】 49,920千円	
④としまキッズパークの契約延長【新規】 26,692千円	
<b>3. 安全・安心に住み続けられるまちづくり</b>	<b>32,950千円</b>
①空き家活用事業 8,784千円、②住宅セーフティネット事業 10,448千円	
③住宅修繕・リフォーム資金助成事業 2,718千円、④街路樹の樹木診断事業 11,000千円	
<b>4. 災害に強いまちづくり</b>	<b>2,119,504千円</b>
(1) 建築物等の耐震化・土砂災害対策	175,288千円
①緊急輸送道路沿道建築物耐震化助成事業 158,180千円	
②建築物等耐震化助成事業【拡充】 7,077千円、③マンション耐震化助成事業 3,000千円	
④土砂災害警戒区域内擁壁等対策工事助成事業 7,031千円	
(2) 特定整備路線沿道不燃化まちづくり/不燃化特区推進事業	1,290,790千円
①特定整備路線沿道不燃化促進事業 42,000千円	
②不燃化特区推進事業 1,189,654千円	
③特定整備路線沿道まちづくり推進事業 59,136千円	
(3) 居住環境総合整備事業	488,423千円
東池袋四・五丁目、上池袋、池袋本町、雑司が谷・南池袋、長崎、巣鴨・駒込 各地区	
(4) 無電柱化の推進(巣鴨地藏通り)	165,003千円

# 令和6年度 部局予算編成方針

## 会計管理室

### 1. 現状と課題

#### 【現状】

1. 日々の相談対応・指導、研修の実施に加え、会計ミス発生原因及びその対策を全庁で共有することにより、会計事故・事務処理ミスの防止に努めている。
2. 金融機関との緊密な連携、ウェブセミナーへの参加などにより最新の情報を収集し、基金利子収入の最大化を図りつつ、歳入歳出外現金も活用しSDGs債の購入を進めている。
3. 委託した公会計専門機関の助言・指導を受け、関係各課と調整しつつ、財務書類の作成及び固定資産台帳の更新作業を進めている。
4. 令和4年3月29日付の総務省「指定金融機関等に取り扱わせている公金収納等事務に要する経費の取扱い等について(通知)」の発信を受けて、全国の地方公共団体や金融機関において、公金収納等の事務に関する経費負担の軽減や事務効率化・合理化の動きが高まっている。

#### 【課題】

1. 各所管課のコンプライアンス(法令遵守)及びリスク管理を徹底し、会計事故・事務処理ミスをなくす。
2. 自主検査の実施により会計事務の適正化を図る。
3. 安全性の確保を最優先としつつ、債券の購入・売却・買換えや定期預金の預け入れなどにより、有利かつ効率的でSDGs未来都市にふさわしい資金運用を行う。
4. 過去の財務書類作成の過程で生じた改善点・反省点を踏まえ、正確かつ効率的に財務書類を作成する。
5. 令和3年に(一社)全国銀行資金決済ネットワークでの「為替取引に係る銀行間手数料の見直し」がなされ、従来の銀行間手数料を廃止のうえ、新たに内国為替制度運営費として創設することとされた。これに伴い、指定金融機関であるみずほ銀行より手数料改定等の申し入れがされており、対応の検討が必要である。

### 2. 予算編成方針

#### 【目標】

1. 常に金利情勢や債券等の発行状況を注視し、SDGsの推進に配慮しながら好機を逃すことなく債券の売買を判断することにより、より多くの基金運用益を確保する。
2. 財務書類の作成及び固定資産台帳の更新作業の効率化・簡素化により、正確・迅速な業務処理体制を構築する。
3. 研修の工夫、支出命令書・請求書・資金前渡に係るチェックリストの活用などにより、会計事故・事務処理ミスをゼロにする。

#### 【基本方針】

1. コロナ対策や物価上昇対策などの突発的な資金需要に備え十分な流動資金を確保するとともに、中長期の基金計画・投資事業計画を踏まえた上で、安全性を最優先としつつ、有利で効率的な資金運用を行う。また、SDGs未来都市にふさわしい資金運用を行う。
2. 引き続き公会計専門機関による支援を受け、わかりやすく正確な財務書類の充実に努める。
3. リスク管理の徹底及び会計事故・事務処理ミスの防止に向け、特に会計事務に初めて従事する職員を対象とする相談会を実施する。また、継続して自主検査を実施し、会計事務の適正化を図る。
4. 振込手数料を改定し、他の手数料等については合理性等を精査するとともに、東京都や他市町村等の動向を踏まえ、令和7年度以降の予算編成に向け、23区として適切に検討していく。

### 3. 重点施策

#### 1. 振込手数料改定 10,233千円

「豊島区公金の収納及び支払に関する事務並びに預金取扱に関する契約書」に基づく、指定金融機関に支払う振込手数料を改定する。(令和6年10月～)

# 令和6年度 部局予算編成方針

## 教 育 部

### 1. 現状と課題

#### 【現状】

- ・令和5年9月以降、国が実施するまでの間、区立小・中学校の給食費を無償化している。
- ・10年前の平成25年度と比較して区立小学校の児童数が2,000人以上(約30%)増加しており、学級数の増加に伴い必要な普通教室数も増加している。
- ・持続可能な学校の指導・運営体制を構築するため、学校における働き方改革の取組の徹底が求められている。
- ・増加する不登校児童・生徒に対し、スクールソーシャルワーカー(SSW)等による支援がより求められている。
- ・子どもスキップ全22施設に、小学校とスキップにおいて特別な配慮が必要な児童の見守りを行うスクール・スキップ・サポーター(SSS)が配置されている。
- ・令和元年度に策定した教育ビジョン2019の計画期間が令和6年度末で終了となる。
- ・学校施設等長寿命化計画は、原則として5年ごとに見直しを図ることとしている。
- ・全校に配置している学校図書館司書を活用し、児童・生徒の主体的な学習活動の支援を強化する必要がある。

#### 【課題】

- ・食材価格高騰の長期化により、学齢期の子どもがいる保護者の経済的負担は増加している。
- ・既存校舎のキャパシティを超える学校に対して、教室改修工事以外の対策を検討する必要がある。
- ・緊急提言における教育委員会が特に優先的に取り組む項目としては、「部活動」「支援が必要な児童生徒・家庭への対応」「地域ボランティアとの連絡調整」が挙げられている。
- ・不登校児童・生徒や校内別室で過ごす生徒へ多様な支援が必要である。
- ・学校とスキップの業務の切り替えが難しいことに加え、児童数増加にSSSの負担が増加している。
- ・教育を取り巻く新たな課題や環境変化に対して、計画的かつ迅速に対応する必要がある。
- ・未改築校が20校ある現状を踏まえ、早急に区立学校の改築計画を具体化する必要がある。
- ・改修等の予定がない学校は、学校図書館に電子黒板が配備されておらず、机・書棚の老朽化も進んでいる。

### 2. 予算編成方針

#### 【目標】

豊島区のすべての子どもの学習意欲とWell-Beingが向上できるよう、すべての子どもたちの可能性を引き出し、個人の能力に合わせた深い学びと豊かな心を育む教育を目指した取組を推進していくとともに、児童・生徒が自己肯定感をもって楽しく学べる環境づくりや、一人ひとりが幸せを実感できる取組を推進していく。

#### 【基本方針】

- ・安心して子育てできる環境づくりを推進するため、区立小・中学校の給食費の無償化を継続する。
- ・朋有小学校敷地内に別棟を整備し、総合体育場管理棟が竣工するまでの間、必要な普通教室数を確保する。
- ・教員の心身の健康を保持し、学校教育の質の維持向上による教員の働き方改革を推進するとともに、持続可能な学校部活動に転換していくため、地域、企業等の専門性を活かして、部活動改革を行う。
- ・不登校対策の支援員の配置やSSWを増員し、不登校児童・生徒の学校復帰や社会的自立への支援を行う。
- ・SSSを増員することで子どもスキップの職員体制を安定させ、児童の安全確保を図る。
- ・豊島区基本構想及び基本計画策定の動向や今後の公共施設等の方向性を踏まえて、教育ビジョン及び長寿命化計画に係る検討を行う。
- ・指導者用のデジタル教科書の導入及び学習情報センターの整備により、主体的・対話的で深い学びの実現に寄与させていく。

### 3. 重点施策

#### 1. 新時代に対応した教育支援 1, 167, 073千円

- ①学校給食費の無償化・補助事業・・・746,816千円
- ②学級増に伴う普通教室整備事業・・・398,610千円
- ③学校における働き方改革事業(学校マネジメント強化・部活動改革・外部指導員配置強化)・・・21,647千円

#### 2. 誰一人取り残さない学びの実現 130, 292千円

- ①不登校対策支援員の配置(3名)とSSWの2名増員・・・24,516千円(人事課予算)
- ②子どもスキップ会計年度任用職員の増員・・・100,736千円(人事課予算)
- ③不登校及び不登校傾向生徒の教室外居場所における支援事業・・・5,040千円

#### 3. さらなる教育行政の充実 31, 760千円

- ①教育ビジョン2025策定事業・・・6,740千円
- ②今後の学校改築等にかかる基礎検討事業・・・13,970千円
- ③デジタル化による教育環境の充実事業・・・11,050千円

# 令和6年度 部局予算編成方針

## 選挙管理委員会事務局

### 1. 現状と課題

#### 【現状】

令和5年度は、豊島区議会議員・豊島区長選挙の実施と後処理業務を中心に行った。施設の増築及び改修に伴う、西部地区及び東部地区の期日前投票所の代替施設の検討を行った。区議・区長選挙では、高齢者・障害者も安心して投票ができるよう投票支援パンフレットの作成及び配布を行った。また、公職選挙法改正に伴う衆議院議員選挙の区割り変更に伴う対応及び令和6年7月7日執行予定の東京都知事選挙の準備も行った。

#### 【課題】

1. 令和6年7月執行予定の東京都知事選挙の着実な実施
2. 選挙システム等の標準化対応
3. 東武・西武百貨店を含めた期日前投票所の開設とそのあり方のさらなる検証
4. 若年層を中心とした選挙啓発事業の継続実施
5. 指定施設での投票にかかる外部立会人の執行体制の整備
6. 適切な選挙時執行体制の構築

### 2. 予算編成方針

#### 【目標】

1. 東京都知事選挙の適正な執行を図る。
2. 選挙システム等の標準化対応の着実な実施
3. 選挙啓発活動の充実
4. 東武・西武百貨店を含めた期日前投票所の開設期間及び開設時間等の検証
5. 衆議院解散に伴う緊急選挙への準備
6. 衆議院議員選挙の区割り変更に伴う区民周知の徹底

#### 【基本方針】

1. 選挙の適正な執行により、選挙に対する区民の信頼をより高める。
2. 選挙人の利便性を高める取り組みを検討し、投票率の向上をめざす。
3. 選挙啓発活動を推進し、政治および選挙への関心を高める。
4. 業務の効率化を進め、執行経費の節減をめざす。
5. 選挙時に適切な従事者を配置する。

### 3. 重点施策

#### 1. 都知事選挙執行経費 157,384千円

投票管理者・立会人報酬、選挙事務従事職員手当、各種業務の委託など。

# 令和6年度 部局予算編成方針

## 監査委員事務局

### 1. 現状と課題

#### 【現状】

1. 地方自治法改正に伴い令和2年4月1日から「監査基準」を施行。リスク情報に基づく監査を実施。
2. 毎年度、監査計画に基づき「定期(部局及び施設)監査」、「決算審査」、「財政健全化判断比率審査」、「工事監査」、「財政援助団体等監査」、「行政監査(テーマ監査)」及び「例月現金出納検査」を実施。
3. 平成30年度以降急増した住民監査請求等について、現在も継続して対応。

#### 【課題】

1. 指摘・指導事項等の実効性を確保するためのフォローアップ体制の充実
2. 区の内部統制の整備・運用を踏まえた監査の充実
3. 監査対象施設、団体の見直し(施設監査、財政援助団体等監査等)
4. 財政援助団体等監査に必要な企業会計、公益法人会計の知識習得
5. SDGsなど区政の重要課題を踏まえた監査
6. 監査のオンライン化、ペーパーレス化の検討

### 2. 予算編成方針

#### 【目標】

公正で効率的な区政運営の推進を目指し、監査対象の重点化と監査の質の向上を図り、実効性のある監査を実施する。事務局の限られた予算を真に必要な業務に重点的に配分し効率的・効果的に活用する。

#### 【基本方針】

配当された予算を有効に活用し、適法性の確保を基本に経済性、効率性、有効性を重視した監査を実施するため、次の取り組みを行う。

1. 指定管理者、外郭団体等に対する監査精度を上げるため、公認会計士による予備監査を引き続き実施する。
2. 工事監査における監査委員監査を技術的に支援するため、専門性と外部からの視点を持った技術士への事前調査を引き続き実施する。
3. 区の内部統制の推進に資するため、リスク情報に基づく監査を行う。
4. 各種監査結果の指導・指摘及び要望・意見事項について、所管部局の改善等の措置を確実に求めるため、措置状況を把握し公表等の必要な措置を実施する。
5. 監査制度や監査結果等を区民にわかりやすく説明するため、監査結果報告書の改善を図るほか、1年間の監査結果をまとめた「監査のあらまし」を作成・公表する。
6. 監査委員が根拠に基づく具体的な意見を述べるができるよう、職員のデータ収集・分析能力を高めるため、専門研修やOJT等により人材育成を図る。
7. 訴訟等慎重な対応が求められる法務事案について、弁護士への委任を行う。

### 3. 重点施策

<b>1. 一般事務経費</b>	<b>914千円</b>	
財政援助団体等監査に伴う公認会計士業務委託		750千円
工事監査に伴う技術士調査委託	.....	130千円
研修参加費	.....	34千円
<b>2. 監査委員運営経費</b>	<b>662千円</b>	
法律相談、訴訟委任経費	.....	662千円

# 令和6年度 部局予算編成方針

## 区議会事務局

### 1. 現状と課題

#### 【現状】

開かれた議会を目指し、本会議・予算特別委員会・決算特別委員会のインターネットライブ中継、常任委員会、特別委員会、議会運営委員会の録画中継をホームページで公開している。さらに、本会議初日及び一般質問の中継に手話通訳を導入し、障がいのある方も傍聴・視聴しやすいような方策を推進してきた。また、区議会会議録のホームページでの公開や、年6回発行している「としま区議会だより」により、議会情報を多くの区民へ届ける取り組みを行っている。

#### 【課題】

更なる開かれた議会及びわかりやすい議会を実現するために、区議会のホームページの内容を充実させるとともに、区民が必要な情報をより検索・閲覧しやすくする必要がある。特に、近年はスマートフォンからのアクセス数が増加していることを踏まえ、スマートフォンによる検索・閲覧に重点を置いたページの作成が求められる。

### 2. 予算編成方針

#### 【目標】

区民の信頼に応える、効率的かつ効果的な、開かれた議会運営の実現

#### 【基本方針】

- 区議会ホームページのリニューアル及び区議会広報活動を実施することによる開かれた議会の推進
- 議会改革検討会において様々な課題に対する協議を行い対策を決定することによる議会改革の更なる推進
- 議会報告会の実施により議会への関心を高め、区民に開かれたわかりやすい議会の実現
- 公正で開かれた民主的な区政の発展に寄与することを目的とした政治倫理条例の策定による、透明性の高い開かれた議会の実現
- 速やかに会議録を公開し区民に議会情報を早く伝えることにより開かれた議会を実現

### 3. 重点施策

#### 1. 議会広報関係経費 14,983千円

- 区議会ホームページのリニューアル経費・・・2,400千円(新規事業)
- としま区議会だより全戸配布経費……………4,356千円
- としま区議会だより発行等経費……………4,404千円
- その他議会広報関係経費……………3,823千円

#### 2. 議会運営経費 15,772千円

- 会議録関係経費……………6,863千円
- その他議会運営経費……………8,909千円

#### 3. 議会報告会関係経費 144千円

- ポスター印刷費……………116千円
- その他議会報告会関係経費……………28千円

